

食の安全と健康シンポジウム

食の安全・安心
健康の維持・増進と病気の予防
高度QOLの実現を目指して!

(生活の質の向上)

国立大学法人 埼玉大学・群馬大学・宇都宮大学・茨城大学の首都圏北部4大学連合(4u)では、食の安全や健康に関する研究成果の紹介と産業界をはじめとした学外の皆様との交流の場づくりの一環として、「食の安全と健康」をテーマとしたシンポジウムを開催いたします。

埼玉、群馬、栃木及び茨城の4県は、首都圏にあって肥沃な大地に恵まれた地域です。この特質に大学の知と学外の皆様の活力を加え、「食の安全と健康」に関するイノベーション創出と地域の活性化に貢献して参りたいと考えており、4大学では、教員の連携によって「食の安全と健康」に関する研究会を多数企画中です。

本シンポジウムでは、その取組の概要や関連する研究について紹介すると共に、「食事による癌の改善」等の講演を行いますので、皆様のご参加をお待ちしております。

と き

2010年11月26日(金)

13:00~17:00(交流会17:15~)

開催場所

埼玉大学総合研究棟
シアター教室

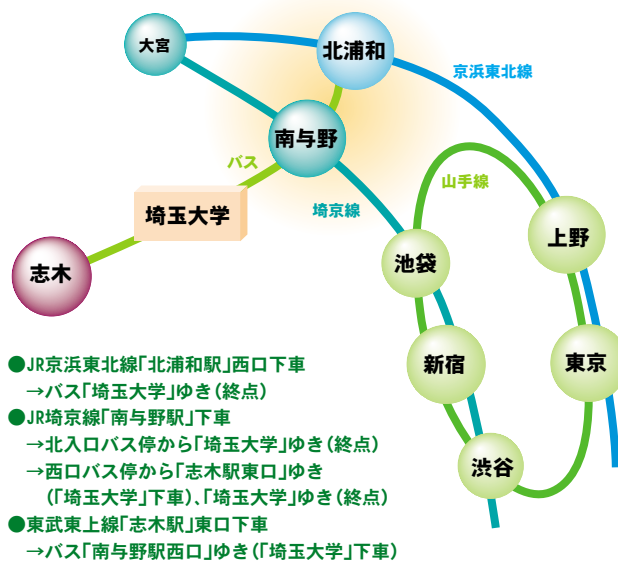
さいたま市桜区下大久保255

参加費

無 料(交流会は2千円)

他 詳 細

裏面をご覧ください



プログラム

- No.1 13:00～13:05 <開会挨拶>
埼玉大学 理事・副学長 川橋 正昭
- No.2 13:05～13:20 <食の安全と健康研究会の概要紹介>
埼玉大学 地域オープンイノベーションセンター知的財産部門担当 教授 太田 公廣

- No.3 13:20～14:40 <基調講演> 「食事による癌の改善」
西台クリニック院長、前千葉大学医学部臨床教授 ^{わたよう たかほ} 済陽 高穂

【講演概要】近年の研究によりがんは生活習慣との関連が深く、その改善ががんの予防や治癒に影響を及ぼす。進行・再発がんの治療には難渋するところであるが、われわれは過去 15 年間にわたり 200 例を超える晩期がんに対し、手術・抗がん剤・放射線照射とともに食事指導を行い、6 割以上の症例にその効果をみている。玄米・菜食、減塩、動物性蛋白・脂肪を制限する Macrobiotics 思想を基盤とした栄養指導の実際とその成果を詳述したい。

休 憩

- No.4 14:50～15:15 <関連講演> 「食の安全・安心のための残留農薬等迅速分析法の開発研究」
茨城大学 大学院理工学研究科 応用粒子線科学専攻 教授 池畑 隆

【講演概要】食品需要の60%を輸入に頼る我が国において、食の安全に対する国民の関心は高く、現状10%程度の安全検査率を格段に向上することが急務である。本研究では、ppb レベルの感度と迅速性を兼ね備えた残留農薬分析法の開発を目指している。

- No.5 15:15～15:40 <関連講演> 「高品質な食生産には高品質な有機肥料が必要不可欠
— 家畜排せつ物の安全性確保を目指して —」
宇都宮大学 農学部農業環境工学科 教授 岩淵 和則

【講演概要】家畜排せつ物は良質な有機肥料として食料生産に資する循環的利活用が期待されるが、一方ではその安全性が十分確保されているとは言い難い状況にあることも事実である。ここではその現状の一部を紹介する。

- No.6 15:40～16:05 <関連講演> 「高感度フコイダンELISA測定系の開発と臨床応用について」
群馬大学 医学部保健学科看護学専攻臨床看護学 教授 長嶺 竹明

【講演概要】オキナワモズク由来フコイダンを免に免疫して得られたポリクロナール抗体を使用して、フコイダンELISA測定系を開発した。フコイダン1gを経口投与したボランティアの血中および尿中のフコイダン値を測定し、興味深い成績を得た。

- No.7 16:05～16:30 <関連講演> 「食品素材としての植物由来機能性多糖」
埼玉大学 大学院理工学研究科生命科学部門 教授 円谷 陽一

【講演概要】植物の細胞壁は様々な多糖から構成されており、栄養とはならないがヒトの免疫能を高めるなどの機能性食品素材として注目されている。細胞壁多糖の一つでオオムギのβ-グルカンに焦点を当てて、その働きを紹介する。

- No.8 16:30～16:55 <関連講演> 「アンチエイジング物質—ポリアミン—」
自治医科大学 医学部総合医学第2(さいたま医療センター 循環器病臨床医学研究所) 准教授 早田 邦康

【講演概要】ポリアミンは、ほとんどすべての生物の共通の物質で、細胞の増殖・分化や機能の維持に重要な働きを有する。食物は体内ポリアミンの重要な供給源であり、高ポリアミン食はマウスの老化を抑制し寿命を延長する。

- No.9 16:55～17:00 <閉会挨拶>
宇都宮大学 知的財産センター長 教授 山村 正明

- No.10 17:15～18:30 交流会(参加費2千円)

----- (お申し込み：下欄に必要事項を記入いただき、事前にFAXもしくはeメールにてお申し込みをお願い致します) -----

FAX : 048-858-9120 埼玉大学 地域オープンイノベーションセンター 行 申込期限 11月19日(金)

Eメール : coic-jimu@ml.saitama-u.ac.jp

以下の通り参加申込みします。

貴社名 _____ 業種 _____ TEL _____

住 所 _____

ご 芳 名		
ご 役 職		
e-mail		
交 流 会	参加・不参加 (当てはまるものに○)	参加・不参加 (当てはまるものに○)

* 3名様以上でのお申込は、本紙をコピーしてお送り下さい。
本申込記載事項は、本シンポジウムの開催に際してのみ利用致します。